

## バイオマスプロジェクトチームだより No.4



平成 17 年 2 月 15 日 (火)  
バイオマスプロジェクトチーム  
(環境生活部資源循環推進課)

### 1. 事業の進捗状況 等

#### ○ 木質バイオマス利活用実用化促進事業



製材残材投入風景(東金市山田)

現在稼動中の実用化プラントでの製材残材投入の様子です。製材残材を効率的に収集して「炭化処理」による高度利用の実用化を進めるための実証試験を行っています。

また、木炭の新用途開発について、民間企業・千葉大学・県試験研究機関等との共同研究を進めているところです。2月15日(火)には県内の中小企業を対象とした施設見学会を開催しています。

#### ○ 山田町での農林水産バイオリサイクル研究

2月14日(月)にバイオリサイクル研究の施設・システム化ユニットの推進会議が行われ、全体の課題が話し合われました。

また、3月9日(水)に関係者による施設の工事状況見学と全体会合を山田町で行う予定です。参画各機関による平成16年度取組み状況の報告、平成17年度の研究計画等を話し合う予定としています。



メタン発酵槽基礎工事・続(山田町)

#### ○ バイオマス立県ちばアドバイザー委員会の開催

2月28日(月)に今年度第2回目のバイオマス立県ちばアドバイザー委員会を開催します。

委員会は、「バイオマス立県ちば」の推進のため、専門的見地からの意見を求める第三者機関として平成16年1月から設置されています。委員は学識経験者、産業界関係者、行政関係者(14名)から構成されています。

今回の議題は、「山武町のバイオマスタウン構想」等についてとする予定です。

## 2. 国・大学等との連携

### (独)産業技術総合研究所が実施する「地域 LCA(ライフサイクル・アセスメント)の検討」

LCA( ) についての中間報告会が、(独)産業技術研究所により1月20日(木)に実施されました。自治体用にLCA実施手法を整備することを目的として、平成16年度から17年度にかけ、千葉県、岩手県、三重県をモデルとした研究開発が行われています。

未利用バイオマスを対象とした地域間の物流モデル、最適なバイオマス処理施設技術・規模選定のための資源・技術データベース、バイオマス処理施設立地選定のための地域環境データベース作成等について報告がありました。

来年度にかけ、こうした解析モデルを精緻化し、未利用バイオマスに関する「LCAソフトウェア」及び地域LCAの手順を記述した「地域LCA実務書」の作成が予定されています。

### LCA(ライフサイクル・アセスメント)

製品の製造 使用 廃棄という一連の流れの中で、環境に与える影響を一元的に算出し評価するための手法。

## 3. 普及啓発活動・その他

### ○ 里山フォーラム in ちば に出展

1月23日(日)に市原市民会館で開催された「里山フォーラム」に出展しました。バイオマスプラスチック製品、木質バイオマス製品等のバイオマス関連製品とパネルを展示するとともに来場者に対する個別の説明を行い、バイオマスの普及啓発を図りました。



里山フォーラム出展ブース(市原市)

### ○ 千葉県環境教育研究会に参加

1月30日(日)に千葉県中央博物館で開催された「千葉県環境教育研究会」に参加しました。バイオマスプロジェクトチームの取り組みを紹介するとともに、県内の小・中・高で行われている環境教育に関する実践事例の報告を聞き、今後の環境教育面での連携の可能性について、情報交換を行いました。

バイオマスプロジェクトチームでは、環境教育への取り組みの一環として、3月に千葉大教育学部附属中学校の2年生向けにバイオマスの授業をする機会を得ました。研究会では、授業内容について先生方からアドバイスも受けました。

### ○ 企業相談・視察など

- ・ 市町村のバイオマスタウン構想づくりに向けてコンサルタント企業との情報交換を進めています。
- ・ 食品残さについて、肥料化や飼料化の取り組みについて相談を受けています。